

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	オリーブキッズちはや			
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日		～	2025年 3月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日		～	2025年 3月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	定期的に面談や子育てに関する助言等の支援が行われており、相談体制が整っていること。	メッセージツールや連絡システム活用していることで連絡を取りやすい体制を作っていることや、定期的な面談だけでなく、送迎時にお会いして実際に保護者と指導員で会話の機会を持つことで信頼関係を築くことを心掛けている。	システムのより効果的な活用方法を検討し、保護者が使いやすく安心してご利用いただけるようにする。
2	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていること。	職員全体で日々の様子をしっかりとカンファを通じて共有したり、多職種が連携して様々な角度から必要な支援や支援の方向性を検討している。	5領域を踏まえた個別性の高い支援を実現するために、職員全体で視点について共通理解ができるよう研修・支援会議を行っていく。
3	子どもたちが安心感を持って楽しく通所しており、事業所の支援に満足していること。	子どもたちが普段経験できないことを沢山できるよう様々なイベントやレクを企画し放課後の時間を楽しめるよう工夫している。また、職員同士が明るい雰囲気支援に携わることで信頼でき安心感を持って過ごすことができるよう心掛けている。	子どもたちや保護者からの要望を取り入れる機会を増やし、より満足度が高く充実した時間を過ごせるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校や他事業所との連携の強化が必要。	特に学校との連携が難しく、普通級の子供は下校時間や行事、子どもの生活にかかわる情報を共有されない状況にあることが多いため、送迎のトラブルや引き渡しのミスが起こりやすい。	支援学校だけでなく、地域や普通級でも理解を深めてもらえるよう具体的に連携の必要性を提示して各所へ働きかけていく。
2	保護者同士の連携の場の実現にむけた取り組み。	両親ともに働いているご家庭が多く、保護者会を実施するのは困難な状況である。また、イベント開催時に該当のイベントに参加する保護者対象にボランティアを兼ねて子どもの様子を見られる機会を設けたが、希望者がいなかったことから保護者間の交流を実現できなかった。 保護者によっては連携を必要としていない家庭もある。	今後もイベント開催時等で保護者交流のタイミングを設けていき、子どもを交えて参加しやすい雰囲気を作っていく。
3	行事や訓練、地域交流の情報など、様々な事柄の発信能力が低い。	特定日に開催のイベントについては、利用契約日ではないことから参加が難しい児童がいる。また、事業所 SNS を開設し保護者へ周知を行っているが、まだ馴染みが नाही様子である。	事業所SNSを開設しているため、引き続き定期的に更新を行っていく。また、導入しているシステムを活用することで保護者全体へ活動記録を発信することができるため、引き続き事業所の取り組みを知っていただけるよう発信していく。